

第3回 町長定例記者会見 結果

- 開催日時 平成26年12月4日（木）午前9時30～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 5人

町長から次の話題について発表を行いました。

■12月定例町議会の議題より

・補正予算について

12月9日から今年の第6回遠軽町議会定例会が開会されます。今議会には、衆議院の解散に伴います、第47回衆議院議員総選挙に伴う補正予算の専決処分並びに、遠軽町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正、町道路線の認定、指定管理者の指定などの議案並びに生活安全灯電気料の追加、福祉暖房費助成事業、エゾシカ囲いわな捕獲事業に係る経費など、一般会計総額で約9千百万円の補正予算を提案させていただきます。

・福祉暖房費助成事業について

福祉暖房費助成事業につきまして、この目的は冬季暖房費の高騰による低所得者世帯への負担を軽減するために助成を行うものであり、対象世帯は2,270世帯、1世帯1万円を現金で口座振替による支給となります。1月下旬から対象者に個人通知をし、3月初旬から支給する予定です。

■旭川紋別自動車道遠軽豊里IC（仮称）の設置に伴う施設整備について

旭川紋別自動車道遠軽豊里IC、仮の名前ですけれども、これにつきましては、高規格道路旭川紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町、湧別町を經由し、紋別市に至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路として整備が進められており、現在丸瀬布ICまでの約80km、約62%が完成し供用しています。

現在工事が進められています丸瀬布遠軽道路は、丸瀬布ICから遠軽町豊里までで、計画延長は18kmになっております。

平成18年度に事業化、平成20年度に工事着手され、瀬戸瀬ICの完成予定は、平成28年度中と聞いております。次の遠軽豊里ICにつきましては、現在のロックバレースキー場周辺に設置されることとなります。開通については、瀬戸瀬ICの供用開始後、早期の完成を目指しているようです。

なお、遠軽豊里IC（仮）以降の具体的なルートについては、現在のところ、検討段階であり、お知らせできる状況ではないと聞いております。

遠軽豊里IC（仮）の位置につきましては、現在のロックバレースキー場周辺ということですので、町もこの高規格道路の完成に併せ、スキー場周辺整備を予定しており、スキー場のロッジを兼ね、年間を通して利用できる施設を整備し、遠軽町のPR並びに活性化を図りたいと考えております。

■湧別原野オホーツク100kmクロスカントリースキー大会について

次に、湧別原野オホーツク100kmクロスカントリースキー大会については平成27年2月22日（日）第30回目の記念大会となります。

大会実行委員会、北海道新聞社等の主催による湧別原野オホーツク100kmクロスカ

トリースキー大会は、今回は、昨年度までの種目に加え、新しく北大雪コース、遠軽町営東球場までの60kmコースを新設、すでに12月1日から申し込みを受け付けております。

また、今回から、選手から要望の強かった上白滝地区に迂回（うかい）路を整備し、スムーズに走ることができるようになります。

今大会は30回目の記念大会ということもありまして、冬季オリンピック、ワールドカップで活躍されました、夏見円（なつみまどか）さんも、前日の交換会や原野コースの一部に参加予定ですので、一緒に走ってみてはいかがでしょうか。

■この冬の節電について

次にこの冬の節電についてです。

皆様方のお手元に資料があると思いますが、冬の節電に向け北海道が作成した資料です。

12月1日からこの冬の節電要請期間がスタートいたしました。

このことにつきまして、私からも町民の皆様、企業の皆様へあらためて節電に向けてご理解とご協力をお願いしたいということです。特に冬においては、電力需要の中で大きなウエイトを占める、家庭における節電というのが大変重要です。11月1日から電気料金の値上げも実施されているところですので、節電、省エネによりまして皆様方ご負担が少しでも軽減されればと考えております。

高齢者、障がいのある方々などは、それぞれの無理のない範囲でご協力をお願いしたいと思います。

■合併市町連携会議について

次に北海道合併市町連携会議の活動についてです。10月23日に、北海道合併市町連携会議として、市町村合併推進体制整備費補助金に係る財源の確保、並びに広域・分散型といった特殊性を持つ北海道における行政運営の実態に即した地方交付税の算定について、国（総務省）及び国会議員に対し要望を行ってまいりました。

現在総務省で、合併後10年の特例期間終了後も交付税を上乗せする方向で検討を始めたということです。

このことは、北海道合併市町連携会議をはじめ、全国の合併した市で組織されております「合併算定替終了に伴う財政対策連絡協議会」などによる、支援策を求める声が、国（総務省）において合併自治体に配慮する必要があると判断されたと理解しております。

今後の財政運営に対し、良い意味で大きな影響を与える結果になると考えております。

■自衛隊関係について

次に自衛隊関係についてですが、10月には、陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会、11月には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会で、北海道における自衛隊体制強化について、要望活動を行っています。

遠軽町においては、町村合併時において、人口減少の推移はある程度予測はしていたものの、町が将来的にも存続していくためには、町を支える基盤をしっかりと固めていくことが重要であると認識しており、中でも、遠軽駐屯地の存在意義については、皆さんもご承知のとおり、経済・教育・医療・福祉更には防災の面においても中心的な存在であります。

そのためにも、駐屯地と地域が一体となり、駐屯地とともに発展する町づくりを進めてまいりたいと考えております。

■遠紋オホーツクの高速交通を考えるフォーラムについて

最後になりますが、本日午後5時から、ホテルサンシャインにおきまして、遠紋オホーツク高速交通を考える会及び北海道の地域とみちをつなぐネットワーク連絡会議の主催により、 「遠紋オホーツクの高速交通を考えるフォーラム」 が開催されます。

札幌大谷大學平岡社会学部長様からの基調講演、並びに高速交通の必要性について、「遠軽医師会」・「湧別漁業協同組合」からの報告もございますので、ぜひ参加をお願いいたします。